

普及活動情勢報告（平成28年2月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

環境制御技術の普及推進！！・・・幡多地区環境制御技術研究会を開催・・・



2月8日に中村合同庁舎3F会議室において、JA全農の吉田征司主管を講師に招き、幡多地区環境制御技術研究会と共催で幡多地区環境制御技術講演会を開催しました。

参加者は、農家22名、関係者30名のべ53名でした。

講師から効果的な環境制御に必要な生育診断技術について分かりやすい説明をいただき、参加農家には好評で、「講演内容は今後の管理作業に活かしたい」等の意見がありました。

農業改良普及課は、キュウリ、ピーマン、ナス、ミョウガ、トマト等の環境制御技術実証ほ場で生育・収量調査を実施しています。調査データを基に、生育診断指標の策定検討を行い、農家が自ら生育診断し、効果的な環境制御ができるよう支援していきます。

高校生に地域の課題を考えてもらおう・・・高校生と（農）田野川甲営農組合との意見交換・・・



中村高校が総合的な学習の時間を活用して地域課題探求学習会を実施するにあたり、1月26日に田野川甲集会で、中村高等学校2年生13名と（農）田野川甲営農組合のメンバーが意見交換と現地研修を行いました。

1月12日には、農業改良普及課職員から、農業・農村の課題と課題解決に取り組む集落営農についての事前学習会を実施し、今回の意見交換になりました。

高校生からは、法人化のメリット・デメリット、鳥獣害対策、地域の魅力は？など、幅広い質問がありました。

農業改良普及課では、集落営農組織による地域貢献活動の取り組みを今後もしていきます。

来年度に向けて・・・2組織が打ち合わせを実施・・・



2月17日、東富山を守る会ひがしやま加工部と（農）四万十川営農組合が、（株）四万十ドラマと来年度の加工用イモ栽培に向けて話し合いを行いました。会には、16名が出席し、来年度の出荷量や規格について討議しました。

農業普及課は、今後も栽培管理における支援や関係機関との調整等、両組織の活動支援を行います。

青果率向上に向けて・・・JA三原支所ユズ部会剪定講習会・・・



2月18日、ユズの剪定講習会を開催し、生産者24名が参加しました。

農業改良普及課から、実演を含めて剪定方法について説明する中で、生産者からは、「整枝が理解できた」「結果母枝がどういったものか分かった」等の意見が多く出され、理解を深めることができました。

今後は各生産者を巡回し、剪定指導を行っていきます。

再生5年目、やっと超低樹高化・・・JAはた西土佐支所栗剪定作業班・・・



2月19日、四万十市口屋内において、しまんと新一次産業（株）の伊藤氏を講師として招き、再生園での超低樹高剪定指導を行いました。

農業改良普及課は、今回のような活動を通じ、超低樹高化技術を正しく伝えるとともに北幡地域の栗再生の連携に努めています。

今後は、末端生産者への現地指導により、地域全体の生産量を高めていきます。

競争力のあるオクラ産地の育成を目指して・・・JA高知はたオクラ部会栽培講習会開催・・・



JA高知はたオクラ部会は、2月3日（宿毛支所）、9日（中村支所）、11日（大月支所）、17日（大方支所）において栽培講習会を開催し、のべ103名が参加しました。

農業改良普及課からは、生育初期の病虫害防除や、セルトレイ苗を活用した移植栽培方法及び注意点について説明しました。

農業改良普及課では、移植栽培のメリット、デメリットを十分に理解したうえで取り組めるように、今後も講習会等を引き続き実施していきます。

新規需要米の生産安定に向けて・・・幡多地区飼料米専用品種栽培講習会・・・



飼料米専用品種の栽培講習会を3月15日（四万十市）、16日（宿毛市）、17日（土佐清水市）に開催し、生産者延べ129名が参加しました。

農業改良普及課から、栽培管理における通常品種との違いや、栽培管理上重要なポイント（多肥栽培・遅めの収穫）を中心に説明し、その後質疑応答を行いました。生産者からは様々な質問が出され、栽植密度や肥培管理等の飼料米専用品種における品種特性、栽培管理のポイント等への理解が深まりました。

今後も定期的に栽培講習会を開催し、生産者の収量確保を支援していきます。

今年度の活動を次年度へ

・・・平岡ぶどう園チーム会開催・・・



2月19日、宿毛市にある平岡ぶどう園において、6次産業化推進事業を活用し、ラベルやパッケージの改良及び販促グッズの作成にかかるチーム会を開催しました。

今年度の進捗状況を報告した後、改良したラベルシートと新たな包材を使用した商品の確認を行いました。アドバイザーからは、料金設定の仕方や新たな販売先について、意見や情報をいただきました。

来年度も、アドバイザーの支援を受けながら、商品の改良や販売拡大に向けた支援を行っていきます。

農業用重油タンク対策地区説明会・・・黒潮町の取組み・・・



JA 高知は管内では『幡多地区燃料タンク対策協議会』を設立し、計画的に重油流出防止装置付きタンクへの変更を推進しています。今回その一貫として、大きな津波が想定されている黒潮町において、2月16日から地区を分けての事業説明会を実施しました。

参加者からは、火災や土壌汚染等の二次災害に懸念する声もあり、対策の必要性は理解されてきました。しかし、設置スペースが確保出来るところが少ないことが大きな課題となっています。

農業改良普及課では、計画的に幡多管内全域への設置に向けて、今後も支援していきます。

新規就農者を育てよう・・・幡多地域指導農業士連絡協議会の開催・・・



2月16日、中村合同庁舎で新規就農者育成を目指して、指導農業士間の幅広い意見交換や情報共有を行うため、幡多地域指導農業士連絡協議会を開催しました。この会には、幡多地区の指導農業士と関係機関約20名が出席しました。

会の開催にあたり、幡多地域指導農業士連絡協議会の設置承認を得て、初代会長に黒潮町の柿内氏、副会長に大月町の松田氏が選任されました。また、協議会は年1回以上開催することとなりました。

農業改良普及課は、協議会活動の支援を行い、新規就農者の確保・育成に取り組んでいきます。

子ども達に農業を知ってもらいたい！・・・宿毛地区4Hクラブ出前授業を開催・・・



1月29日、宿毛地区4Hクラブは、宿毛小学校3年生56名を対象にJA高知はたみかん選果場で出前授業を行いました。クラブ員3名が講師となり、『ブンタンができるまで』の授業をした後、選果場内を見学しました。

授業終了後、ジュニア博士認定書が授与され、子ども達から、「機械が動いているのが見えて面白かった」「自分でブンタンをむくことができた。美味しい。」等の声がありました。また、クラブ員からは「子ども達に農業のことを知ってもらえて嬉しい。今後もこのような活動を続けていきたい。」等の声が上がりました。

農業改良普及課は、子ども達への農業理解を深めるため、4Hクラブの地域貢献活動を支援していきます。